

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	2-3-1		事業名	重症心身障害児(者)通園事業の拡充
担当	保健福祉局保健福祉部障がい福祉課 福崎 (211-2936)			
全体計画(当初)				
事業内容	重度の知的障がいと重度の肢体不自由が重複している、在宅の重症心身障害児(者)の方を対象に、通所により、機能訓練・指導等の日常生活に必要な療育を行う事業を拡大する。		<年度別の事業内容>	
			平成16年度 既存施設数 A型1施設・B型3施設 新規開設数 B型1施設(H16.10～、豊成養護学校跡改修) 平成17年度 既存施設数 A型1施設・B型4施設 平成18年度 既存施設数 A型1施設・B型4施設 新規開設数 B型1施設(H19.2～)	
事業内容(量・場所・規模等)	平成16年度事業内容(決算)		平成17年度事業内容(決算)	
	市立中央中学校内の旧豊成養護学校跡を改修し、平成17年1月からB型施設を新規に実施 実施箇所数: A型(1日定員15名)1カ所、B型(1日定員5名)4カ所 定員: 35名 決算額: 97,100千円、うち新規実施に係る事業費4,244千円、旧豊成養護学校改修費998千円		平成17年度は平成16年度と内容変更なし 実施箇所数: A型(1日定員15名)1カ所、B型(1日定員5名)4カ所 定員: 35名 決算額: 107,146千円	
事業内容(量・場所・規模等)	平成18年度事業内容(決算)		評価(成果)	
	実施箇所数: A型(1日定員15名)1カ所、B型(1日定員5名)4カ所 新規整備数: B型(1日定員5名)1カ所(平成19年2月～) 定員: 40名 決算額: 106,800千円		当初計画どおりの整備ができた。	
課題				
今後、国において当該事業のあり方について検討する予定であり、国の動向を見極める必要がある。				
19年度以降の方向性・事業の予定				
在宅福祉と医療技術の向上により、在宅で生活する重度の障がいの方が増え、また、養護学校卒業生の多くが在宅生活を希望していることから、当該事業の利用希望者が増加している。このことから、重度の障がいのある方の地域生活を支援するため当該事業は極めて重要であるが、上記課題のとおり事業のあり方を国において検討することとなっていることから、国の動向を見極めながら、必要な対応を検討していく。19年度については南区方面にB型施設を整備する方向で補正予算要求を上げる予定。				

